

令和2年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	2. 幹線道路整備事業
項	2. 道路橋梁費	中事業	
目	3. 道路新設改良費	担当所属	道路建設課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	1, 131, 625
臨時	補助	計画	0	0	93, 105	第5章 基本施策3 施策1	住環境が整備された住みやすいまちづくり	260, 199
							交通環境の整備	176, 760
							安心・快適な道路環境の維持管理を行います	193, 548
								307, 355
							令和2年度	193, 763

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	75, 032	
本年度当初査定額	74, 891	127, 953

財源内訳	国庫支出金	地方債	その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0	75, 032	△75, 032
本年度当初査定額	39, 491	35, 400	0	53, 062

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 工事：直弥I-35号線道路改良外1路線 委託：小竹I-4号線詳細設計、飯野II-31号線用地測量・物件調査・用地境界杭設置・登記外3路線物件調査等、自転車通行帯詳細設計、幹線道路(都市計画道路)整備計画見直業務、交通量調査6ヶ所、弁護士委託料(民事執行・民事訴訟) 用地・補償：飯野II-31号線用地取得・物件補償外2路線、直弥I-35号線電柱移設補償外1路線</p>	<p>(事業の目的) 現状の道路網を踏まえ、アクセス性の向上や渋滞解消などに対応するため、幹線道路の車道拡幅整備や歩道整備を行い、市民生活の安心、安全、快適性の向上を図りながら、国県道、都市計画道路を軸とした道路網の構築に努めます。</p>	<p>(事業の効果) 歩道整備や道路拡幅により道路利用者の安全性や快適性の向上が図られるとともに、幹線道路網の整備により交通渋滞の緩和や交通事故削減が図られます。また、アクセス性が向上することで地域間交流が拡大し、地域経済の活性化が図られます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 厳しい財政状況下での公共事業予算の確保は、市民ニーズに対応した事業実施において最大の課題であります。また、道路拡幅用地の確保における地権者の協力が得られず、整備計画に影響が出ている路線があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、事業の選択と集中を行い、効率的な施工方法を経済的に検討します。なお、路線全体ではなく部分改良などにより一定の効果が得られるような創意工夫をし、最小の経費で最大の効果が得られるように努めます。</p>	<p>(見積についての特記事項) 市内の各地区を結ぶ道路は、幅員が狭く、各所で交通渋滞が発生していることから、交通渋滞の解消、安全性の確保、利便性の向上が求められます。このことから幹線道路等の整備は必要であります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	20	20	0
10	150	182	△32
12	24, 104	0	24, 104
14	62, 074	0	62, 074
16	24, 980	0	24, 980
18	6, 625	0	6, 625
21	10, 000	3, 800	6, 200

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	15	02	06	01	01	00	防災・安全社会資本整備交付金	3, 468	3, 468	0	3, 468
	15	02	06	01	02	00	社会資本整備総合交付金	36, 023	36, 023	0	36, 023
	22	01	04	01	03	00	幹線道路整備事業債	35, 541	35, 400	0	35, 400
差引一般財源								△75, 032	53, 062	0	53, 062